

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	三田市			代表者名	田村 克也
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	地域福祉課	連絡先電話番号	079-559-5069
担当者役職	係長	担当者氏名	池田 宜功	連絡先E-mail	
住所	669-1595 兵庫県三田市三輪2丁目1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	民生委員・児童委員担い手確保対策事業
概要	民生委員・児童委員の担い手確保を目的としたICTを活用した広報活動について助言をいただきたい。		
支援を求める分野	ICT活用広報		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年7月2日	支援・助言(オンライン)	13時00分	17時30分	15
				活動時間(分)	255
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	井上 あい子
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	PR動画の構成や動画作成に係る業務委託契約で必要となる仕様書等の事務局案について、また、委員活動の負担軽減に向けた活動記録のデジタル化について、専門的な知見から多様な考え方を向うことができた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	3人
	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	3	その他(学生など)

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	【担い手確保対策事業】 ○PR動画 ・民生委員のことを知らない人や関心のない人であっても興味を持って見ることができ、楽しみながら民生委員を理解してもらえるような動画を作成できるか ・また、動画制作は業者委託により実施するため、市の方針をくみ取れる業者と契約を締結できるか ○広報部会 ・デジタルの知識を有する民生委員が少ない中で、委員自身が自主的にICTを活用した広報活動に取り組めるような体制を構築できるか ○民生委員活動の負担軽減 ・紙媒体での各種申請・通知が多い中で、民生委員にとってハードルが低く継続的に使用できるデジタルツールを活用することで委員活動の負担軽減に繋げられるか
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	・ICTを活用した広報活動の展開(PR動画等魅力あるコンテンツの効果的な発信手段の確立) ・広報担当となる民生委員が継続的かつ主体的にICTを活用した広報活動を展開できるような体制の構築 ・デジタル化の推進による委員活動の負担軽減

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 動画作成に係る業務委託契約が必要となる仕様書において、動画作成だけでなく広報展開まで取り組める事業者の選定に向けた技術提案及び特定テーマの記載方法についての助言 活動記録の報告フォーム作成に向けて、利用し得るツールや視野に入れるべき選択肢についての助言 ICTを活用した効果的な広報活動を展開するため、広報部で作成した広報記事の掲載先となり得るSNSツールについての助言 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 動画の構成やコンセプトだけではなく、色彩の区別による場面对比など表現方法を工夫することで見る人を惹きつける動画作成が可能であるとの認識を得た 活動記録のデジタル化を進めるにあたり、今後も継続的に使用できる報告フォームを作成するため、費用負担を抑えた上で民生委員にとって使いやすく負担の少ないツールを検討する必要があるとの共通理解を図った 広報記事の掲載ツールを選定するにあたり、各SNSの特性を理解し情報を届けたい対象や掲載内容によって掲載先ツールを使い分けることで、ICTを活用した広報をより効果的なものにできるとの認識を得た 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 実施していない	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
	地域情報化アドバイザーからの助言を受け、PR動画のコンセプトや構成等を明確にし、民生委員の担い手確保に効果的な動画を作成する。また、広報部会においては、ICTを活用した広報活動の体制を構築し、民生委員により主体的な活動を展開する。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	ICTを活用した広報活動の展開及び民生委員の負担軽減に向けたデジタル化の推進を行い、民生委員の担い手を確保する。	

具体的にご記入下さい。
支援を受けた事業が成果につながり
自治体側に内在していた成功要素

具体的にご記入下さい。
支援を受けた事業が成果につながり
自治体側に内在していた成功要素

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

